

株主のみなさまへ

第194期 事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで



拝啓、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第194期の業績および当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におきまして、当社グループは「安全・安心・安定」を大前提に、持続的な成長を実現すると共に、沿線地域社会の信頼に応えられる企業グループを目指し、積極的な取り組みを展開し業績の向上に努めてまいりました。

当連結会計年度の営業収益は5,303百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は249百万円(同68.3%増)、経常利益は228百万円(同63.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は有価証券売却による特別利益の計上等により486百万円(同270.3%増)となりました。

当社グループは、埼玉県北部の公共交通機関として「安全・安心・安定」を実現できる事業者であり続けることが大きな使命であり、輸送の安全、無事故無災害の達成を最優先課題に掲げております。

この目的の達成に向け、施設の継続的な整備に加え、公共交通事業者としてのその社会的責任と使命を認識し、すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるべく、全役員・従業員一人ひとりが、安全性の向上に常に取り組みむことが必要であり、そのためになすべきことを強く意識して業務にあたるように努めてまいります。

次年度は、中期経営計画(2015年度～2017年度)の最終年度として取り組むべき課題、目標を達成すべく、グループレベルで経営資源を活用し、営業利益の拡大を確保できる体制の確立を進め、各社・各部門で主体的に活動してまいります。

鉄道事業では、当年度よりサービス向上の一環として、運行情報等を提供する「旅客案内システム(デジタルサイネージ)」を導入、現在14駅で運用を開始いたしました。次年度は、残り22駅設置を予定しております。

また、公共交通事業者として、沿線地域の活性化に貢献することは社会的責務であるとの認識のもと、平成29年4月1日持田・熊谷駅間に「ソシオ流通センター駅」を開業いたしました。今後は周辺地域の定住人口の拡大や、産業拠点の拡充が進み、大きく発展することが期待されます。さらに、永田・小前田駅間では深谷市の花園IC拠点整備プロジェクトに係る新駅設置が進行しております。大型アウトレットモールを核とした商業・観光拠点ができることにより多くの観光客の沿線流入が期待でき、当社グループにとっても事業環境が大きく変化することになりますので、状況を見極めながら対処してまいります。

熊谷駅南口においては、新たな土地を購入いたしました。これにより従来の社有地を含め活用方法の幅が広がったことから、将来的な当該不動産の高度利用とあわせて地域の活性化や鉄道利用者の増大に資する計画の立案も進めてまいります。

その他、SL「パレオエクスプレス」の運行30周年記念事業や新たなイベントの開催をはじめ、ラッピングトレインの活用等、沿線の魅力を高める施策に自治体や同業他社等と協力して取り組み、多くのお客様に楽しんでいただけるよう努力してまいります。

平成29年6月

代表取締役社長

大谷隆男

敬具

事業の概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を営み当社と子会社6社で構成されております。当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

鉄道事業におきましては、「輸送の安全確保が最大の使命である」という認識のもと、設備面では引き続きコンクリート枕木化、レールの重軌条化、連動装置更新等の施設改良、踏切道支障報知装置の新設や法面補強など、安全対策工事を推進いたしました。更に、従業員の安全意識の高揚と技能の向上に努め、2期4年の運転無事故を達成し、関東運輸局より運転無事故事業者として表彰されました。

旅客部門におきましては、お客様の利便性とサービス向上の一環として、運行情報等を提供する「旅客案内システム（デジタルサイネージ）」を導入し順次運用を開始いたしました。

また、「わくわく鉄道フェスタ」の開催やS L列車も話題を呼ぶ企画等を実施し、年間を通して順調に運行いたしました。

しかしながら、沿線の就学人口の減少や8月後半から9月にかけての天候不順の影響による旅客の減少を補いきれず、旅客人員及び旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

貨物部門におきましては、堅調に推移し、貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

また、営業費用は、電力料金が値下がりしたことに加え経費削減に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は3,338百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は0百万円（前年同期は94百万円の営業損失）となりました。



不動産事業

不動産事業におきましては、深谷市緑台の分譲地の完売により販売物件が減少したことなどから、営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は345百万円（前年同期比18.9%減）、営業利益は182百万円（同9.7%増）となりました。



バス事業

バス事業におきましては、貸切バスの稼働が伸びず営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、車両更新による減価償却費負担増により前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は436百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は33百万円（同33.2%減）となりました。



観光事業

観光事業におきましては、長瀬への誘客を促進するため旅行者への営業活動を強化すると共に、各施設で季節毎の集客キャンペーン等、様々な取り組みを実施いたしました。

しかしながら、営業収入は、度重なる台風の影響を受け運休が続いた長瀬ラインくだりをはじめ、各施設で前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、修繕費の増加があったものの、その他の経費等の削減に努めたことにより前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は471百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は15百万円（同53.4%減）となりました。



その他事業

その他事業におきましては、建設業における公共工事の受託等が減少した他、卸売・小売業においてコンビニエンスストア等の収入が前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、人件費の減少に加え各事業において経費削減に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は1,112百万円（前年同期比8.1%減）、営業損失は5百万円（同79.9%減）となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (平成28年度)	前連結会計年度末 (平成27年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,918,083	1,573,669	344,414
固定資産	21,689,105	21,384,558	304,547
資産合計	23,607,189	22,958,227	648,961
(負債の部)			
流動負債	3,844,988	3,521,320	323,667
固定負債	8,978,133	9,181,695	△ 203,561
負債合計	12,823,122	12,703,015	120,106
(純資産の部)			
株主資本	387,329	△ 98,906	486,236
資本金	750,000	750,000	—
資本剰余金	21,916	21,915	1
利益剰余金	△ 355,993	△ 842,409	486,415
自己株式	△ 28,592	△ 28,412	△ 180
その他の 包括利益累計額	10,385,251	10,342,766	42,485
非支配株主持分	11,485	11,351	133
純資産合計	10,784,067	10,255,211	528,855
負債純資産合計	23,607,189	22,958,227	648,961

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

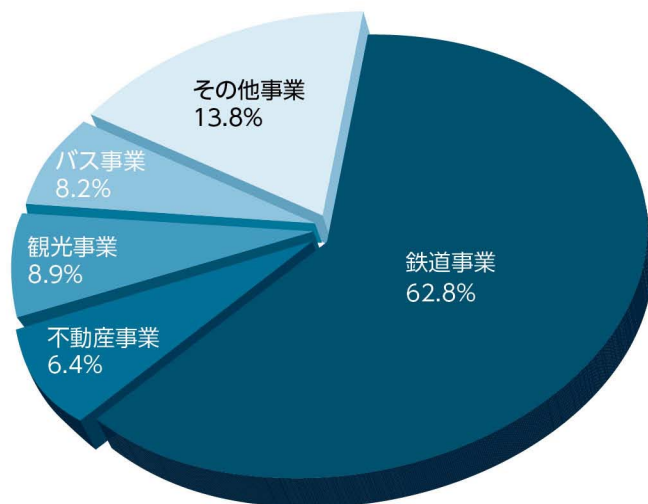
連結損益計算書の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (平成28年度)	前連結会計年度 (平成27年度)	増減額
営業収益	5,303,334	5,479,340	△ 176,006
営業費	5,054,039	5,331,246	△ 277,206
営業利益	249,294	148,094	101,200
営業外収益	53,202	54,275	△ 1,072
営業外費用	74,156	62,750	11,406
経常利益	228,340	139,618	88,721
特別利益	686,748	231,812	454,936
特別損失	479,706	209,309	270,396
税金等調整前 当期純利益	435,382	162,121	273,260
法人税、住民税 及び事業税	73,079	37,627	35,452
法人税等調整額	△ 124,194	△ 7,011	△ 117,183
非支配株主に帰属する 当期純利益	82	146	△ 64
親会社株主に帰属する 当期純利益	486,415	131,358	355,056

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別営業収益構成比



連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (平成28年度)	前連結会計年度 (平成27年度)
株主資本		
当期首残高	△ 98,906	△ 244,217
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純利益	486,415	131,358
自己株式の取得	△ 261	△ 254
自己株式の処分	82	101
土地再評価差額金の 取崩額	—	14,105
当期変動額合計	486,236	145,311
当期末残高	387,329	△ 98,906
その他の包括利益累計額		
当期首残高	10,342,766	10,247,435
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	42,485	95,330
当期変動額合計	42,485	95,330
当期末残高	10,385,251	10,342,766
非支配株主持分		
当期首残高	11,351	11,252
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	133	98
当期変動額合計	133	98
当期末残高	11,485	11,351
純資産合計		
当期首残高	10,255,211	10,014,471
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純利益	486,415	131,358
自己株式の取得	△ 261	△ 254
自己株式の処分	82	101
土地再評価差額金の 取崩額	—	14,105
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	42,619	95,429
当期変動額合計	528,855	240,740
当期末残高	10,784,067	10,255,211

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



個別財務諸表

個別貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当会計年度末 (平成28年度)	前会計年度末 (平成27年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,368,704	1,058,249	310,455
固定資産	21,289,823	21,084,323	205,500
資産合計	22,658,528	22,142,572	515,955
(負債の部)			
流動負債	3,496,118	3,236,072	260,045
固定負債	8,854,561	9,075,228	△ 220,667
負債合計	12,350,680	12,311,301	39,378
(純資産の部)			
株主資本	46,242	△ 443,695	489,938
資本金	750,000	750,000	—
資本剰余金	14,108	14,106	1
利益剰余金	△ 689,273	△ 1,179,390	490,117
自己株式	△ 28,592	△ 28,412	△ 180
評価・ 換算差額等	10,261,605	10,274,967	△ 13,361
純資産合計	10,307,848	9,831,271	476,577
負債純資産合計	22,658,528	22,142,572	515,955

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書の要旨

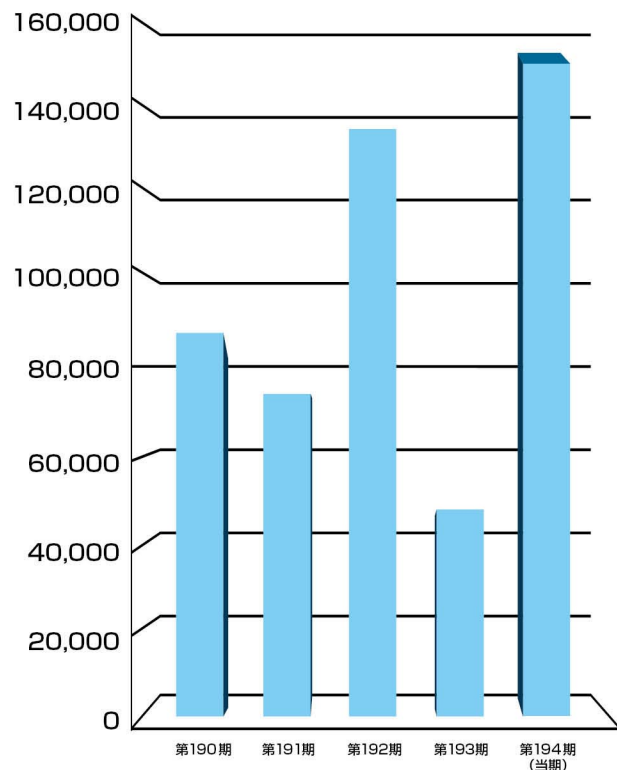
(単位：千円)

科 目	当会計年度 (平成28年度)	前会計年度 (平成27年度)	増減額
鉄道事業			
営業収益	3,338,415	3,338,651	△ 236
営業費	3,336,387	3,433,499	△ 97,112
営業利益又は 営業損失(△)	2,028	△ 94,848	96,876
不動産事業			
営業収益	345,769	426,607	△ 80,837
営業費	163,379	260,423	△ 97,043
営業利益	182,390	166,183	16,206
観光事業			
営業収益	332,452	362,928	△ 30,476
営業費	321,780	343,358	△ 21,578
営業利益	10,672	19,570	△ 8,898
全事業営業利益	195,090	90,906	104,184
営業外収益	55,431	54,027	1,403
営業外費用	99,073	99,732	△ 658
経常利益	151,447	45,201	106,246
特別利益	754,109	219,603	534,506
特別損失	479,689	209,309	270,380
税引前当期純利益	425,867	55,495	370,372
法人税、住民税 及び事業税	48,135	19,473	28,661
法人税等調整額	△ 112,384	△ 6,696	△ 105,688
当期純利益	490,117	42,718	447,398

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別経常利益推移表

経常利益



株主資本等変動計算書

(単位: 千円)

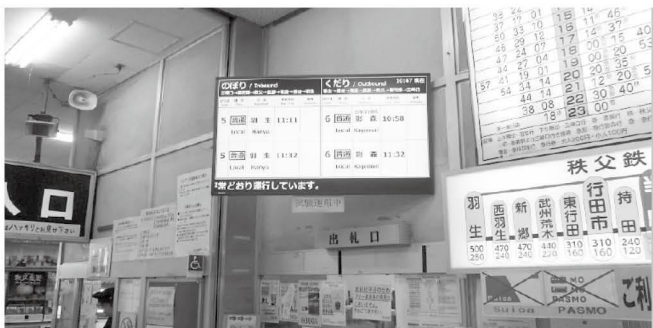
科 目	当会計年度 (平成28年度)	前会計年度 (平成27年度)
株主資本		
当期首残高	△ 443,695	△ 500,366
当期変動額		
当期純利益	490,117	42,718
自己株式の取得	△ 260	△ 254
自己株式の処分	81	101
土地再評価差額金の取崩額	—	14,105
当期変動額合計	489,938	56,670
当期末残高	46,242	△ 443,695
評価・換算差額等		
当期首残高	10,274,967	10,195,827
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△ 13,361	79,139
当期変動額合計	△ 13,361	79,139
当期末残高	10,261,605	10,274,967
純資産合計		
当期首残高	9,831,271	9,695,461
当期変動額		
当期純利益	490,117	42,718
自己株式の取得	△ 260	△ 254
自己株式の処分	81	101
土地再評価差額金の取崩額	—	14,105
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△ 13,361	79,139
当期変動額合計	476,577	135,809
当期末残高	10,307,848	9,831,271

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



わくわく鉄道フェスタ

5月21日(土)広瀬川原車両基地にて、「わくわく鉄道フェスタ2016」を開催いたしました。約5,750名のお客様にお越しいただき、無事にイベントを終了することができました。



旅客案内システム (デジタルサイネージ)運用開始

列車の時刻表、運行情報等を大型ディスプレイに映し出す「旅客案内情報サイネージ」と監視カメラ・遠隔放送装置の運用を開始いたしました。大きくて見やすい時刻表表示と、放送装置を併用した運行情報の提供で、お客様の利便性およびサービスの向上に努めております。



SLガリガリ君エクスプレス2016

夏の風物詩イベントとなっている赤城乳業株式会社とのコラボレーションイベントとして、SLを運行いたしました。SL乗車の方へのガリガリ君アイスバー型乗車記念証のプレゼントやあたりくじ付きの硬券入場券の発売、スタンプラリーの開催などを行いました。

祝 秩父夜祭 『ユネスコ無形文化遺産登録』 記念乗車券

12月2日(金)3日(土)に秩父市にて開催された「秩父夜祭」がユネスコ無形文化遺産に登録決定となったことを記念して、記念乗車券を発売いたしました。





SLパレオエクスプレス冬季特別運転

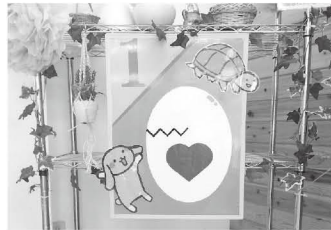
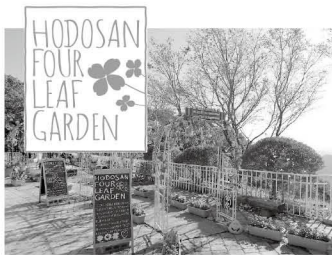
秩父産ワインやおつまみ等の販売を行った「SL 兎田ワイン列車」、お子さま限定お菓子プレゼントや車内じゃんけん大会でお楽しみいただいた「SL 森永クリスマスエクスプレス」、ウイスキーと羊羹のマリアージュをご堪能いただいた「SL 秩父ウイスキー祭列車」等、様々なSLイベントを行い、冬の寒さを吹きとばす、熱い蒸気機関車の走りをお楽しみいただきました。



縁結び・開運きっぷ

みなさまに良いご縁やご運がありますようにと、「縁結び・開運きっぷ」を発売し、御朱印めぐりや沿線観光などにご活用いただきました。

また、秩父三社（寶登山神社・秩父神社・三峯神社）で参拝し、御朱印の際に「縁結び・開運きっぷ」を提示すると各神社デザインオリジナル木札ストラップが貰える特典をご用意いたしました。



観光事業

各施設でシーズンに合わせた様々な企画を実施し、お客様をお迎えいたしました。

長瀨ラインくだりでは季節毎のキャンペーンや毎月16日(トロの日)に乗船された女性のお客様先着30名へのプレゼントを実施いたしました。

宝登山山頂には四つ葉のクローバーをテーマとした「宝登山フォーリーフガーデン」をオープンした他、宝登山小動物公園ではイースター「エッグハント」等のイベントを開催いたしました。

有隣倶楽部では四季折々のメニューを考案し、多くのお客様にご利用いただきました。

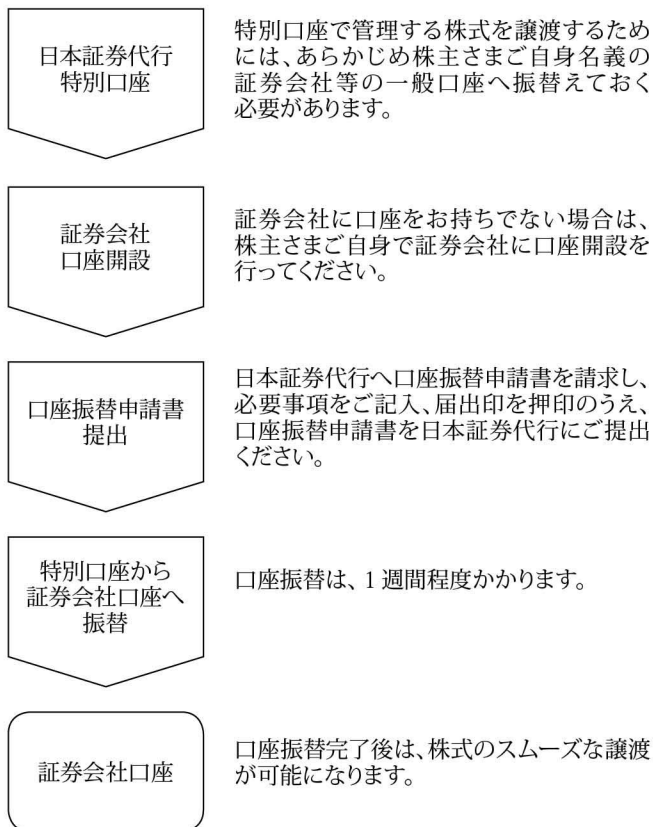
宝登山ロープウェイでは、「初日の出鑑賞便」や「夕焼け鑑賞便」等の特別運行を行った他、こどもの日に合わせ駅前にこいのぼりの飾り付けを行いました。

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化(平成21年1月5日実施)の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主さまの株式は、当社が日本証券代行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替えておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内



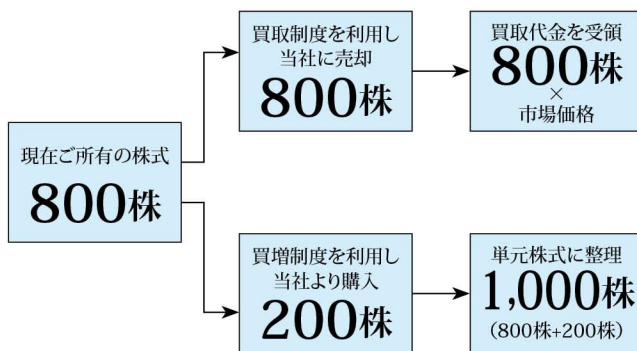
単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は、1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。

当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願いいたします。

買取制度 ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。
(例)当社株式を800株ご所有の場合、その800株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度 ご所有の単元未満株式を1単元(1,000株)の株式にするために必要な株式を買増すことを当社に請求できる制度です。
(例)当社株式を800株ご所有の場合、200株を市場価格で当社から購入し、1,000株にする。

注)10月1日より単元株式数の変更および株式併合を予定しております。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問合わせ下さい。

日本証券代行 代理人部 (平日9:00~17:00)

0120-707-843

役員 (平成 29 年 6 月 28 日現在)

代表取締役社長	大谷隆男
取締役	赤岩一男
取締役	高柳功
取締役	中山高明
常勤監査役	村田光明
監査役	高田眞平
監査役	安武修二

株主メモ

事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
定時株主総会	6 月
基準日	
定時株主総会	毎年 3 月 31 日
期末配当金	毎年 3 月 31 日
中間配当金	毎年 9 月 30 日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店

(郵便物送付先
お問い合わせ先) 〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
0120-707-843(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
全国本支店においても行っております。

公告方法
単元株式数
皆様へのお願い
東京都において発行する日本経済新聞
1,000株
住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が
間違いなく届きますよう、お早めに上記株主
名簿管理人にお手続きください。

ホームページ
http://www.chichibu-railway.co.jp
※(鉄道ニュースやイベント情報がご覧いただけます。)

毎年 3 月 31 日の最終の株主名簿に記録された株主さまに
対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引
券を発行いたします。

1. 優待乗車証(定期券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
15,000 株以上 21,000 株未満	当社電車全線優待乗車証	1 枚
21,000 株以上	当社電車全線および・索道 (宝登興業株式会社) (宝登山ロープウェイ) 全線優待乗車証	1 枚

※有効期間・・・6月1日から1年間(5月下旬発送)

2. 優待乗車証(回数券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
1,000 株以上 3,000 株未満	2 枚
3,000 株以上 5,000 株未満	4 枚
5,000 株以上 10,000 株未満	6 枚
10,000 株以上	10 枚

※有効期間・・・7月1日から1年間(6月下旬発送)

3. 優待割引券

ご所有株式数 1,000 株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
宝登山小動物公園	特別入園券 5 枚
長瀬ラインくんだり	50%割引券 各 5 枚
有隣俱樂部お食事代(飲み物は除く)	
ガーデンハウス有隣お食事代 (飲み物は除く)	
秩鉄タクシー株式会社	運賃 200 円割引券 5 枚

※有効期間・・・7月1日から1年間(6月下旬発送)

注)10月1日より単元株式数の変更および株式併合を予定しております。

 秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地

TEL 048-523-3311(代表)

URL <http://www.chichibu-railway.co.jp>

